

南小国町立南小国中学校グラウンドデザイン

校訓：【自主・礼節・健康】

学校教育目標
きよらの郷を愛し 学び合い 高め合い 夢に挑む 南中生の育成

重点目標

- ふるさと「南小国」を誇りとし郷土を愛する心を育てる
- 自他を大切にし、周りへの感謝の気持ちを育てる
- 夢の実現に向けて、自ら考え、判断し、挑戦する気持ちを育てる
- 何事も最後までやり抜く、強い意志と体力を育てる

めざす教職員像

- 生徒に寄り添い、一人一人を大切にできる教職員
- 生徒、保護者、地域から信頼される教職員
- 使命感に燃え、自己研鑽に努める教職員
- 組織の一員としての自覚を持ち、自ら考え動く教職員

めざす生徒像

- かしこい生徒(自主)
夢に向かって、自ら考え、自ら学び挑戦する生徒
- やさしい生徒(礼節)
自他への思いやりがあり、感謝の心を持つ生徒
- たくましい生徒(健康)
何事も最後までやりぬく、強い意志を持った生徒

めざす学校像

- みんなの居場所がある学校
命を大切にし、一人一人の自尊感情が育まれる学校
- 教育環境が整った学校
言語環境が整備され、緑が多く草花で潤った学校
- 信頼される学校
生徒・保護者・地域から愛され信頼される学校

重点的に育成を目指す資質・能力

4 C

Communicative Ability(コミュニケーション能力) Collaboration(協働) Creativity(創造性) Critical Thinking(批判的思考)

本年度学校経営スローガン

Challenge to Change (変化への挑戦)

経営方針

- ◎教職員一人一人が、「率先垂範」「協同実践」「ネバーギブアップ」の意識を持ち、各自の強みを生かし、学校・家庭・地域が連携をしながら、創意工夫に満ちた教育活動を展開する。
- 職員一人ひとりが教育公務員としての職責の重大さを自覚し、自己研鑽に努める。
 - 人権尊重の精神を基底に、一人一人の生徒が生かされる教育活動を推進するとともに、全ての教育活動をととして規範意識を養い、「豊かな心」の育成を図る。
 - 授業力向上に努め、個別指導の充実に努め、生きる力の基盤となる「確かな学力」の育成を図る。
 - 自らの体に関心を持ち、粘り強い意志と体力の向上を図るとともに、「心身の健康教育」に努める。
 - 「生徒・地域あつての学校」を忘れず、謙虚さと緊張感を持って、地域とともにある学校づくりに努める。

本年度の努力目標と具体的努力点

豊かな心の育成

- 「特別の教科 道徳」の授業の充実
- どの生徒にも居場所がある学級・学校づくり(仲間づくり)の推進
- 生徒にしっかりと寄り添い、一人一人を大切にしたい人権教育の推進
- 感性を磨き、想像力を豊かにする読書活動の推進

確かな学力の育成

- 「きよらこ学習」の実践を元にした「好き・わかる授業」の展開
- 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくりの推進
- 学校総体による特別支援教育の充実
- 南中心得の徹底と家庭学習の効果的取組の充実

健康教育の推進

- 日々の授業や部活動等による体力作りの推進
- 学級経営・日常指導を基盤とした望ましい食習慣の推進
- 自分のからだを知り、自他の命を大切にする保健指導の充実
- 学校総体としての安全教育・防災教育の体制整備

地域とともにある学校づくり

- 保護者や地域と連携した教育活動の充実と環境美化の推進
- 家庭と連携した基本的生活習慣の育成
- 幼保・小・中・高連携の推進
- 不祥事防止の取組からの保護者・地域との信頼関係の構築

本校の実態

本校の強み

- ・生徒が真面目で素直なこと
- ・保護者や地域が協力的であること
- ・行政や学校後援会による支援が手厚いこと
- ・地域人材による支援(読み聞かせ団体、南小国町食生活改善推進協議会、宿泊農業体験受け入れ農家、まちインターン受入事業所等)が豊富であること
- ・幼・保等、小、中、高の連携体制が整っていること

本校の課題

- ・学力は総じて高いが個人差が大きい
- ・自ら課題を見だし、その解決に取り組む力の育成
- ・自分の思いや考えを積極的に表現する力の育成
- ・自らの生活を適切に管理し、生活習慣を改善していく力の育成
- ・災害等に対して自らの身の安全を守るために自主的に判断する力の育成

学校経営の基盤

南小国町役場、南小国町教育委員会、保護者、後援会、南小国町町PTA連絡協議会、南小国町町社会福祉協議会、熊本版CS、学校応援団、主任児童委員・民生児童委員、きよらパトロール隊